

令和7年9月27日

常任理事の皆様へ
各団の皆様へ

野球部会 事務局 和田

秋季大会4日目(10月4日)の組合せです。

<注意事項>

1. 二回戦の残り二試合を実施します。
なお、三回戦8試合は10/12(日)に2会場(中川原A、高砂中央野球場)で予定しております。
2. 当日の試合会場の利用時間および車両台数は、以下のとおりです。
午前中使用の他団体にご注意願います。

◆ 日の出町公園野球場
12時～17時、各団10台まで
3. グランド担当団は派遣審判員とグランド責任者用の駐車場の確保をお願いします。

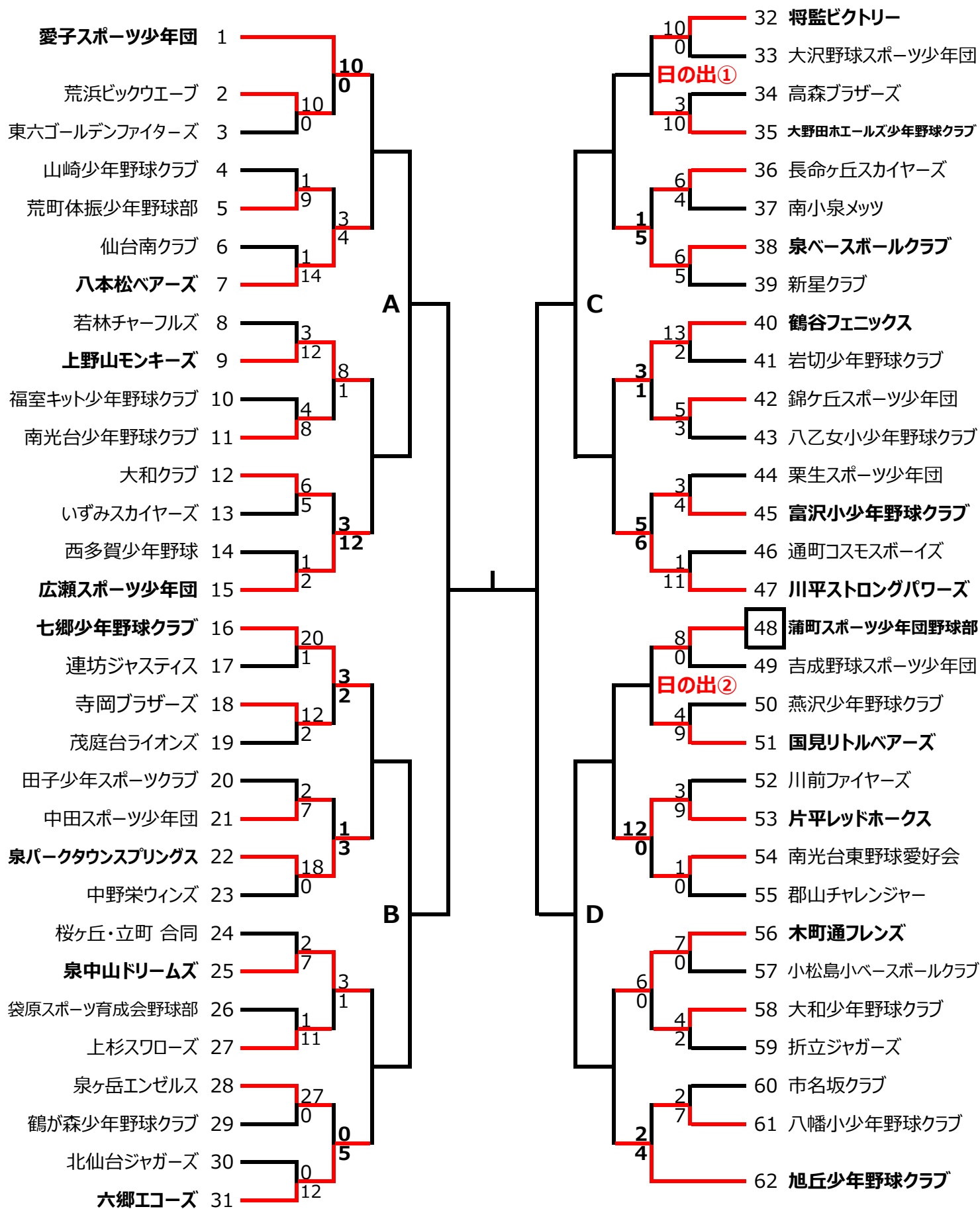
皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和7年第36回 仙台市スポーツ少年団 秋季・新人野球交流大会大会要項

- 1:趣 旨 仙台市スポーツ少年団(野球)が一堂に会し、日頃の活動の成果を示し、団員相互の交流を図るとともに技能の向上を目指すこと。
- 2:主 催 仙台市スポーツ少年団
- 3:主 管 仙台市スポーツ少年団野球部会
- 4:後 援 仙台市野球協会
- 5:協 賛 ㈱NIKKAMEMORYアート アクティースポーツ ナガセケンコー(株)
- 6:試合期日 (1)秋季大会:令和7年9月6日(土)・13日(土)・20日(土)・27日(土)・10月12日(日)・25日(土)・11月3日(月)・8日(土)・22日(土)
(2)新人大会:令和7年9月23日(火)・10月5日(日)・13日(月)・11月3日(月)・8日(土)・22日(土)・24日(月)・29日(土)・30日(日)・12月6日(土)・13日(土)
(ただし学校行事などのための調整日に他の土・日曜日を使用いたしますので了承ください。)
- 7:開会式 日時 9月6日(土)7:30～、 会場 海岸公園第3野球場
雨天で試合が13日以降になった場合は、開会式は行わず試合に入ります。優勝旗、優勝杯、準優勝杯の返還は、当日の会場で試合前に行います。
- 8:参加資格 (1)参加資格は、スポーツ少年団登録システムに登録した指導者及び団員とし、仙台市内の小中学校に在籍する選手で構成したチームとする。なお、特別な事情がある場合は役員会で協議し参加資格を認める。
なお、新人戦においては、団員は本部登録がされていなくても、参加する事が出来る。
(2)指導者及び選手はスポーツ安全協会傷害保険に加入していること、または、同等の保険に加入していること。
(3)リトルリーグに登録している者は参加を認めません。
(4)登録メンバーが10名に満たないチームは、合同チームを編成して参加することを認める。
合同チームのユニフォームは、それぞれのチームのユニフォームの着用を認める。ただし、背番号は統一した番号とする。
- 9:その他 (1)大会要項及び大会規則による。
(2)雨天等で開催が危ぶまれるような場合は、試合会場担当責任者(野球部会役員)に各団の連絡責任者より確認の電話をお願いします。(第2日目以降の試合グラウンド等も同様)
(3)試合会場集合時間は、試合該当団及び審判担当者とも試合開始予定時刻30分前に致します。(但し、第1日目の第1試合を除く)
(4)ボールボーイは試合該当団より3名(うち1名は外野)をお願い致します。
(5)試合終了後のグラウンド整備は、試合終了該当団2団で行って下さい。
(6)事故等が発生した場合は、速やかに試合会場責任者(部会役員)に報告して下さい。
(7)ゴミ・たばこの吸殻等は各団でお持ち帰り下さい。
(8)その他ご不明等がある場合は、各区担当理事まで問い合わせ確認して下さい。

担当区	理 事	電話番号
青葉区	和田 松雄	090-4888-0316
泉 区	木村 光男	090-8780-9672
太白区	小林 孝夫	090-4559-1623
宮城野区	熊谷 頼朗	090-7523-7560
若林区	鈴木 真由美	090-7322-9009

令和7年度仙台市スポーツ少年団第36回秋季野球交流大会 4日目 (10月4日)



☐ は、グラウンド担当団となります。ご協力お願いいたします。

【 試合時間グラウンド責任者等について 】

1. 試合会場及び担当団・連絡責任者

ブロック	試合数	使用グラウンド	グラウンド担当団	G責任者 (所属団)	電話番号
CD	2	日の出町公園野球場	蒲町スポーツ少年団野球部	小林 孝夫 (大野田)	090-4559-1623

2. 各ブロック試合開始時間予定

会場	試合数	第 1 試合	第 2 試合	第 3 試合	第 4 試合
日の出	2	13 : 15 ~ 14 : 45	15 : 00 ~ 16 : 30	—	—

3. 審判について

① 3 ~ 4 試合会場

第一試合は本部より派遣のゴールド審判とグラウンド担当団より 2 ~ 3 名。

第二試合以降は、前の試合の勝者が主審と 2 塁、敗者が 1・3 塁の審判となります。

② 2 試合会場

第一試合は本部より派遣のゴールド審判と第二試合の両団から 1 ~ 2 名とし、位置は当日調整とします。

第二試合は、前の試合の勝者が主審と 2 塁、敗者が 1・3 塁の審判となります。

③ 1 試合会場

本部より派遣のゴールド審判と両団より帯同審判員 1 名とし、位置は当日調整とします。

4. 外野ネット担当者

各球場に外野ネットを取り付けます。グラウンド担当者は、ネット各担当者と事前に連絡をとり、ネットの引き渡しを受けて使用してください。

ブロック	試合数	使用グラウンド	ネット担当者 (所属団)	電話番号
CD	2	日の出町公園野球場	鈴木 裕司 (荒浜)	090-7327-7324

当日、若干の変更はご了承願います。

大会審判の取り組みについて

各種大会の審判については、毎年大会終了後各チーム関係者より、ジャッジに対するクレームが多く審判の技術向上が叫ばれております。仙台市野球協会のゴールド、準ゴールド及び上級の審判員に出来るだけ審判をお願いしております。

平成22年度より、仙台市スポーツ少年団の各種大会の審判については、次のとおりと致しますので、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

1. 公認審判のグラウンドへの配置を行わず。仙台市野球協会のゴールド及び準ゴールドの審判を配置することと致します。配置された審判には日当1,000円を支給する。
2. 大会の審判は、各チームの皆さんに従来どおり試合終了後の試合の審判を行ってまいります。勝者が球審と2塁、敗者が1・3塁の審判を行ってまいります。但し、グラウンド担当団は第1試合のみ1～3塁の塁審をお願いします。球審は第1試合のみゴールド又は準ゴールドの審判が行います。
3. 審判は、審判技術の向上と正確なジャッジを行っていただくことを目差し各チームの仙台市野球協会のゴールド、準ゴールド及び上級の審判員にて対応願います。
4. 審判の講習会は、仙台市野球協会とタイアップして行います。
5. 試合中にジャッジなどで問題があった場合は、球審、塁審の4名で協議し判定しますが、控え審判のアドバイスを受けて協議し判定を行うことも出来ます。
6. 審判の服装は、各区で定めるシャツかポロシャツ。
審判徽章は、仙台市スポ少の大会のみ、全軟連の審判徽章、ゴールドの徽章、シルバーの徽章で行っても良いこととします。但し、県スポーツ少年団野球協議会のジャンボ大会などは全軟連の審判徽章のみとなりますので注意下さい。

<グラウンド責任役員へ>

1. グラウンドルールを責任審判員と協議して決定する。
2. 必ず抽選カードを持参する。
3. 両ベンチの間（バックネット）でのビデオ撮影をさせないこと。

仙台市スポーツ少年団野球交流大会規則

- 1 参加資格は、仙台市スポーツ少年団本部に登録した指導者及び団員とし仙台市内の小・中学校に在籍する選手で構成したチームとする。なお、特別な事情がある場合は役員会にて協議し参加資格を認める。

新人戦においては、団員が本部登録されていなくとも、参加する事が出来る。

- 2 編成選手は野球部会所定の団員登録用紙に試合の都度提出する事とする。

- 3 登録メンバーが10名に満たないチームは、合同チームを編成して参加することを認める。
但し、他のチームからきた選手は、前のチームの試合に参加できない。

- 4 試合は6回戦とし（新人戦は5回戦とする。ただし、準決・決勝は6回戦とする。）、尚且つ90分（新人戦の5回戦は70分とし、準決・決勝は90分とする。）の時間制限を設定し、3回以降10点差の場合コールドゲームとする。

6回（新人戦は5回、準決・決勝は6回）終了後同点の場合、または試合開始後90分（新人戦は70分、準決・決勝は90分）経過同点の場合は、特別延長（ノーアウト1、2塁）を2回まで行い同点の場合は終了時のメンバーにて抽選で勝敗を決める。

- 5 試合開始時刻30分前には、必ず試合会場に到着し、本部で先発メンバー表の提出（4部提出。放送設備のある場合は5部提出。）して先攻、後攻を決め、試合に備えて待機する。

（但し、開会式実施第1試合該当団は、例外とする。）

- 6 試合開始予定時刻になっても試合会場にこないチームは棄権とみなし、相手チームの勝ちとする。

- 7 ボールボーイは、試合該当団より各3名とし、うち1名は外野に配置する（雨天の場合は大人で行う。）。

- 8 投手の投球数制限は設けず、1日投球イニング数を最大12イニングとする。
（特別延長戦も含む。）

- 9 春季野球交流大会の成績上位チームが、県大会を棄権した場合は、野球部会が主催する次年度の春季野球交流大会への参加を認めない。

但し、学校行事等の場合については、その都度協議することとする。

10 マナーアップに関する取り決め事項

- (1) チーム（指導者、親の会、選手）が如何なる人に対しても、名誉を傷つける野次や言動、又は個人を攻撃するような行為を行った場合は、役員会でその行為が著しくスポーツマン精神に反するものと判断した場合、チームに対してペナルティを課することができるものとする。

(2) 応援の鳴り物については、電子機器（スピーカーからの音楽等）の使用を一切認めない。

他の鳴り物の使用については、グラウンドの立地条件等により違いがあるので、グラウンド担当責任者の指示に従うこと。

1 1 本規則にない事項については、全日本軟式野球連盟野球規則および学童の部の規則にて行う。

（改定履歴）

第一回改定：令和 7 年 3 月 2 3 日

グラウンド担当の皆様へ

外野ネットの設置方法

- ① 1塁側、3塁側にホームベースより70mの位置にポイントを設置
- ② 2塁ベースの中心より、先ほどの70mのポイントに巻き尺を置き円を書きこの場所にネットを設置願います。
- ③ 会場によっては、70mを取れない場合があります。その際は安全を考慮しながら設置ください。
なお、ベース間、距離など、競技者必携(学童の部)でしっかり確認して試合をさせて下さい。
- ④ ネットの上にビニールテープを張ること。(赤系が見やすい)
ネットの下部隙間からボールが外へ出ないように設置してください。

